

教育研究等活動業績

山梨英和大学

フリガナ 氏名	性別	生年(西暦)	職名	所属
コバヤシ マリコ 小林 真理子	女	1962年	教授	人間文化学部人間文化学科 人間文化研究科臨床心理学専攻
取得学位称号	修士(社会福祉学)	専門分野	臨床心理学	
学 歴	1982年 3月 山梨県立都留高等学校 卒業 1982年 4月 山梨大学教育学部特殊教育学科 入学 1985年 3月 山梨大学教育学部特殊教育学科 卒業 2013年 4月 東北福祉大学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程 入学 2015年 3月 東北福祉大学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程 修了 2015年 4月 東北福祉大学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻博士課程 入学 2018年 3月 東北福祉大学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻博士課程 修了			
実 務 経 験	1985年 4月 医療法人回生堂病院 心理科 臨床心理技術者 1989年 6月 山梨県都留児童相談所 心理判定担当 非常勤心理判定員 1990年 4月 山梨県中央児童相談所 判定指導課 主事:心理判定員 1992年 4月 山梨県都留児童相談所 心理判定担当 主事・主任:心理判定員 1998年 4月 山梨県障害者相談所 知的障害担当 主任:心理判定員 2001年 4月 山梨県立精神保健福祉センター 副主査・主査:臨床心理技術者 2006年 4月 山梨県発達障害者支援センター 主査:臨床心理士 2009年 4月 山梨県中央児童相談所 診断育成課 課長 2011年 4月 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域移行・障害児支援室 発達障害対策専門官 2013年 4月 山梨県福祉保健部子育て支援課 児童対策企画監 2015年 4月 山梨県都留児童相談所 所長 2016年 4月 山梨英和大学人間文化学部教授 2016年 4月 山梨英和大学大学院人間文化研究科兼任			
受 賞 歴	2022年 10月 山梨県精神保健協会会長賞 年 月 年 月			
所 属 学 会	1996年 日本心理臨床学会 正会員(現在に至る) 1998年 日本ロールシャッハ学会 正会員(現在に至る) 2000年 日本発達心理学会 正会員(現在に至る) 2005年 日本思春期青年期精神医学会 正会員(現在に至る) 2009年 日本児童青年精神医学会 正会員(現在に至る) 2021年 日本コミュニケーション障害学会 正会員			
特 免 資 格 等 ・ ・	2004年 臨床心理士(日本臨床心理士資格認定協会 No11803) 2018年 公認心理師(No20370) 年 月 年 月			
e-mail	m.kobayashi@yamanashi-eiwa.ac.jp			

目 次

○教育業績

教育理念、方針、方法

教育能力

教育方法実践例

作成した教科書、教材等

教育方法や実践に関する発表、講演等

担当授業科目

代表的なシラバス

教育改善活動

教育能力に対する評価

○研究業績

研究の特徴

研究経歴

研究実績

著書

学術論文

その他の研究活動

競争的資金採択課題

学会等発表、役員参加

共同研究・受託研究の実績

大学院生指導

研究能力に対する評価

○サービス活動業績

学内委員会・作業部会等活動実績

アドバイザー活動実績

後進育成活動実績

社会貢献活動

○専門的活動(教育業績、研究業績、サービス活動業績)の統合による成果と目標

専門的成果

専門的目標

○添付資料

完全リスト(研究実績、競争的資金採択課題、学会等発表・役員参加、共同研究・受託研究の実績、
学内委員会・作業部会活動実績)

サンプル(教育能力、代表的なシラバス、教育改善活動、大学院生指導、アドバイザー活動実績、
後進育成活動実績、社会貢献活動)

評価結果(教育能力に対する評価、研究能力に対する評価)

専門的成果のエビデンス

教育業績

教育理念、方針、方法	<p>大学教育において、専門についての理論や必要な技術を習得することはまずは基本であり、重要である。一方、学校(school)は、古代ギリシア語で(schole スコレー)でその意味は暇であり、最高の暇つぶしの場所であるとも言える。最高の暇つぶしは、「学び」とは何かを問いながら、学び方を学ぶことであると考え、この二つのことに豊かな時間が費やせることが大切である。</p> <p>教育の方法としては、これまでの対人援助職としての実践知と培った技術を教育の場に取り入れ、生き生きとした実践と理論の統合を図れるようにしたい。また、実践の場での支援の現状と課題を明らかにし、学生たちが新しい発見をでき、研究内容への関心を深められるよう心掛けている。</p>
教育能力	<p>(1)教育方法実践例</p> <p>基礎ゼミナールでは、講義中の配慮や個別による支援が必要な学生が複数名おり、保健室や学生相談室並びに図書室との連携をもって授業を進めてきた。専門ゼミナールにおいても、自身のここの課題をもちつつ、心理学に関心をもつ学生も多いため、学生自身の体験と臨床心理学の知識とを繋ぎ合わせるとともに、新たな関心を研究へ結びつけていけるよう考慮しながら進めている。(現在教育方法についての確立はしていないが、アクティビティを用いたグループワークを取り入れながらまずは進めている。)</p> <p>心理学系の授業においては、多くのアクティビティを取り入れ、多様なコミュニケーションを体験してもらえるように配慮し、十分なウオーミングアップを行った。後半では、実践でも役立つようロールプレイや事例を多く取り入れての演習を行っている。</p> <p>公認心理師試験資格に必要な科目を複数持つことになり、福祉心理学や関係行政論など、これまでの実務経験での事例を講義に多く盛り込めるものと思われる。</p> <p>(2)作成した教科書、教材等</p> <p>「発達障害プラクティス 一子どもから大人まで」精神科治療学Vol 29 増刊号 障害者(児)臨床心理学特論 において、テキストとして利用 「障害者/障害児心理学」公認心理師の基礎と実践13 遠見書房 障害者・障害児心理学において、テキストとして利用</p> <p>(3)教育方法や実践に関する発表、講演等</p> <p>2016年7月「思春期・青年期臨床を教えること 児童福祉領域の臨床」第29回大会 本思春期青年期精神医学会 大会テーマ「思春期・青年期臨床を学ぶことと教えること」</p>
担当授業科目	2022年度【学部】展開ゼミナール、専門ゼミナール、福祉心理学、関係行政論、卒業プロジェクト 心理実習Ⅰ【大学院】障害者(児)臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、臨床心理実習、修士論文
代表的シラバス	<p>学部での福祉心理学、関係行政論、大学院での障害者(児)臨床心理学特論においては、これまでの臨床実践を踏まえて、事前学習としてこれまでの経験や実例をあげて、見学実習に行く前の準備をしてもらう。支援のための他機関連携や地域連携に視野をひろげていけるよう、さまざま心理臨床の領域の現在の課題や将来像などについて最新のものを取り入れるように指導している。</p>
教育改善活動	<p>【教員間情報提供による授業改善】</p> <p>○学生の「学び」への意欲、自主的な研究に向かうきっかけづくりを狙って、過去の授業計画・内容の精査を教員間で行い、それぞれの専門分野での授業提供を行う方向である。また、特別な配慮の必要な学生について、学生サービス部、保健室、学生相談室などと情報共有を行い、可能な限り適切な支援に向けて取り組む方向である。</p> <p>○大学院の事例検討について、アセスメントの重視、面接の構造・方法についても再検討していく必要があると感じており、それに基づく専門科目の講義内容を再構成していこうと現在検討中である。</p>

教育能力に対する評価	<p>(1)学生による授業評価</p> <p>○専門ゼミナールでは、これまでの実践援助事例や支援の現状と結びつけた理論説明のため強い関心を示している。(が今後はこれまでの実践を体系化してテキストにしていきたい。)</p> <p>(2)同僚教員等による授業評価</p>
------------	---

研究業績

研究の特徴	1989年～2015年までは地方公務員(2011年～2012年国家公務員)心理専門職として、対人援助職や福祉行政に従事してきた。その業務の中で、対人援助サービスにおいて必要である支援技術や支援システムについて、実践事例を通して研究を行ってきた。
研究経歴	<p>2005年～2010年 ひきこもりや発達障害(児)者に関する支援技術</p> <p>2011年～2013年 発達障害(児)者の支援システム</p> <p>2021年～ 発達障害児の地域支援システム 療育手帳の全国統一化のガイドライン作成</p>
研究実績	<p>(1)著書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小林真理子・中嶋彩(2023)発達障害の早期支援体制 -保育・幼児教育と療育・児童発達支援を核に据えて こころの科学227 日本評論社 pp36～44 2. 小林真理子(2022)専門家チーム(心理職)からの特別支援学校高等部への支援 特別支援教育における学校・教育と専門家の連携 ジアース教育新社 pp162～167 3. 小林真理子(2019) 第2章3発達障害 二訂 介護職員初任者研修テキスト第2巻 人間と社会・介護2 一般財団法人長寿社会開発センター pp376～381 4. 小林真理子(2018) 第6節発達障害の特徴と生活上の障害 障害の理解 I (50～51) 第5節発達障害の原因・種類 障害の理解 二訂 介護福祉士養成実務者研修テキスト 第8巻障害の理解 I・II 一般財団法人長寿社会開発センター pp50～51 pp109～114 5. 小林真理子(2018) 法制度からみた発達障害支援 作業療法ジャーナル7月増刊号VOL52 No8 三輪書店 pp702～708 6. 小林真理子 内山登起夫編著 子ども・大人の発達障害診療ハンドブック 年代別にみる症例と発達障害データ集(2018)「1. 法制度」「2. 福祉制度(学齢期)」「福祉制度(成人期) 明治図書 pp.200-211) 8. 樋川隆 小林真理子(2017)発達障害のあるかたの権利や財産を守る成年後見制度や日常生活支援事業『LD ADHD&ASD学び方の違う子へのサポート』明治図書 pp.18-21 9. 小林真理子 (2015)発達障害にある成人たちの生活の現状と課題—二次的問題(二次障害)への予防的視点 『発達障害のある子の自立に向けた支援』金子書房 pp.47-52 10. 小林真理子 (2014) 学齢期・思春期に利用できる制度と社会資源 『精神科治療学 Vol 29 増刊号 発達障害ベストプラクティス 子どもから大人まで』「精神科治療学」編集委員会 星和書店 pp.211-214 11. 小林真理子 (2011) Q&A 『こころのりんしょうà la carte Vol.30 No.2 子どものこころの病を診る』星和書店 P155,168,187

12. 近藤直司 小林真理子他 (2009) アスペルガー症候群とひきこもり 『別冊発達30 アスペルガー症候群の子どもの発達理解と発達援助 榊原洋一編著』 ミネルヴァ書房 pp.158-165
13. 小林真理子 近藤直司他 (2002) ひきこもり 『いまを読み解く保健活動のキーワード 尾崎米厚他編集』 医学書院 pp.182-184
14. 小林真理子 近藤直司他 (2005) 発達障害とひきこもり 『現代のエスプリ別冊うつ時代シリーズ ひきこもる若者たち 村尾泰弘編集』 至文堂 pp.54-64
15. 小林真理子 近藤直司他 (2002) ひきこもり 『いまを読み解く保健活動のキーワード 尾崎米厚他編集』 医学書院 pp.182-184

(2)学術論文

1. 小林真理子、中嶋彩、槻館尚武、有泉風(2022) 児童福祉領域からみた発達障害児支援Ⅰ 発達障害児の支援施策の概観に基づく公的支援サービスの基礎データ作成 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)地域特性に応じた発達障害児の多領域連携における支援体制整備に向けた研究(本田秀夫主任研究者)分担研究報告書 p26-49
2. 小林 真理子、中嶋彩、本田秀夫、槻館尚武、有泉風(2022) 児童福祉領域からみた発達障害児支援Ⅱ 発達障害児のための支援サービス機能の分析 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)地域特性に応じた発達障害児の多領域連携における支援体制整備 に向けた研究(本田秀夫主任研究者)分担研究報告書 p50-62
3. 小林真理子、本田秀夫、中嶋彩、槻館尚武、有泉風(2022) 児童福祉領域からみた発達障害児支援Ⅲ 発達障害児のための支援サービスマップ作成厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)地域特性に応じた発達障害児の多領域連携における支援体制整備 に向けた研究(本田秀夫主任研究者)分担研究報告書pp63~78
4. 大塚晃 小林真理子 日誌正文(2022)療育手帳制度の過去・現在の再考と未来の提言 厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)分担研究報告書
5. 小林真理子(2021)児童相談所および知的障害者更生相談所における療育手帳の判定基準の統一化に向けての課題の整理 厚生労働科学研究費補助金 分担研究報告書
6. 小林真理子(2020) 公的機関の臨床実践での心理検査の有用性とその限界 コミュニケーション障害学 Vol.37 NO.2
7. 小林真理子(2018) 法制度からみた発達障害支援 作業療法ジャーナル7月増刊号VOL52 No8 三輪書店 pp702~708
8. 小林真理子 (2012) 発達障害に関連した法律と支援制度 小児内科Vol.44 No5 文栄堂 pp.789-793 (査読なし)
9. 小林真理子 (2012) 発達障害者支援のこれまでと今後 LD研究 第12巻 第4号 pp.435-438 (査読なし)
10. 近藤直司 小林真理子 宮沢久江 (2008) 広汎性発達障害をもつ青年期ひきこもりケースの心理療法について 思春期青年期精神医学 JSAP 2008 Vol.18 No2 pp.130-137 (査読なし)
11. 近藤直司 小林真理子他 (2008) ひきこもりと広汎性発達障害 臨床精神医学 第37巻 第12号 アークメディア pp.1565-1569 (査読なし)
12. 近藤直司 岩崎弘子 小林真理子 (2007) 青年期ひきこもりケースの精神医学的背景 精神神経学雑誌 第109号 第9号 pp.834 -843 (査読あり)
13. 近藤直司 小林真理子 有泉加奈絵 (2003) 青年期ひきこもりケースの精神療法的アプローチ 日本外来精神医療学会誌 第2巻 第1号 (査読なし)
14. 近藤直司 小林真理子 (2002) 青年期ひきこもりケースの精神療法 星和書店 精神科臨床サービス 第2巻3号 (査読なし)
15. 近藤直司 河西文子 小林真理子 (2002) 思春期不適応の予防を目的とした母子支援の試み 思春期青年期精神医学 第12巻第2号 (査読なし)

研究
実績

(3)その他の研究活動(国際会議発表、学術誌編集、学術論文査読等)			
1. 書評 子育ての村「むぎのこ」のお母さんと子どもたち支え合って暮らす むぎのこ式子育て支援・社会的養育の実践 北川聡子,古家好恵,小野善郎,むぎのこ(編著)福村出版 児童青年精神医学とその近接領域63-2 (2022)			
2. 「臨床家として駆け出しの頃を振り返って」上智大学臨床研究 第42巻 pp9~19(2019)			
3. 日本発達障害ネットワーク(JDDネット)改訂版・発達障害児のための支援制度ガイドブック 唯学書房 (2015)			
4. 発達障害年鑑 日本発達障害ネットワーク(JDDネット)年報 Vol.5 発達障害をめぐる2012~2013野同項 発達障害の2012~2013年 (2014)			
5. 発達障害年鑑 日本発達障害ネットワーク(JDDネット)年報 Vol.4 発達障害をめぐる2010~2011年の動向 厚生労働省の取り組み pp.22-29 (2013)			
6. 家族療法研究 第29巻第2号 発達障害と家族支援 特集へのコメントー発達障害者への支援施策ー 金剛出版 pp.132-134 (2012)			
7. LD ADHD & ASD10月号 情報最前線 発達障害支援の今後ーライフステージに応じたさまざまな支援と支援者の人材育成体制の整備 明治図書 pp.48-49 (2012)			
競争的資金採択課題		2020年、2021年、2022年 療育手帳に係る統一的な判定基準の検討ならびに児童相談所等における適切な判定業務を推進させるための研究(分担研究) 2021年、2022年 地域特性に応じた発達障害児の多領域連携における支援体制整備に向けた研究(分担研究)	
学会等発表・役員参加	2022年	12月	第2回 日本公認心理師協会学術大会 シンポジスト「こどもまんなか社会のために公認心理師に期待されること」
	2022年	11月	第63回 日本児童青年精神医学会 ポスター発表 児童福祉領域における発達障害児支援サービスの整理ーⅢ 支援サービスマップ作成ー
	2022年	11月	第63回 日本児童青年精神医学会 ポスター発表 児童福祉領域における発達障害児支援サービスの整理ーⅡ 支援サービス機能の分類ー
	2022年	11月	第63回 日本児童青年精神医学会 ポスター発表 児童福祉領域における発達障害児支援サービスの整理ーⅠ 公的支援サービスの基礎データ作成ー
	2022年	11月	第63回 日本児童青年精神医学会 シンポジウム話題提供 障害福祉制度
	2021年	11月	第62回 日本児童青年精神医学会 シンポジウム指定討論 これからの障害児福祉制度の在り方を考えるーエビデンスに基づく仕組みづくりを目指して
	2017年	12月	第4回日本フォスターケア研究会 シンポジウムコメンテーター 改正児童福祉法 理念改正を踏まえた里親養育の実践
	2016年	7月	第29回日本思春期青年期精神医学会 シンポジウム(1)思春期・青年期臨床を教えることー児童福祉領域における臨床ー
	2008年	11月	第49回日本児童青年精神医学会 症例検討7 PDD特性をもつひきこもり青年の心理療法的支援の一例 P113
	2002年	7月	第15回日本思春期青年期精神医学会 発達障害と背景とする不適応事例への支援の試みー相談中断・継続事例を通して

<p>共同研究・受託研究の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2017 障害者総合福祉推進事業「指定障害福祉サービス事業者等への指導監査の在り方に関する調査研究 主任研究者曾根直樹 「利用者への聞き取りと記録について 発達障害の特性と聞き取りの留意事項」の執筆担当 ・2009～2010 厚生労働科学研究費補助金 障害保健福祉総合研究事業「青年期・成人期の発達障害に対する支援の現状把握と効果的なネットワーク支援についてのガイドライン作成に関する研究 主任研究者 近藤直司 『発達障害者支援センター・精神保健福祉センターにおけるネットワーク支援についての研究』 発達障害者支援センターにおける福祉・心理専門職・研究協力者として活動 ・2007～2009 厚生労働科学研究費補助金 障害保健福祉総合研究事業「ライフステージに応じた広汎性発達障害者に対する支援のあり方に関する研究 支援の有用性と適応の評価および臨床家のためのガイドライン作成主任研究者 神尾陽子 『在宅青年・成人の支援に関する検討』 精神保健福祉センターにおける福祉・心理専門職・研究協力者として活動 ・2005～2006 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業「思春期・青年期の「ひきこもり」に関する精神医学的研究 主任研究者 井上洋一 『ひきこもりの個人精神病理と治療的観点についての研究』 精神保健福祉センターにおける福祉・心理専門職・研究協力者として活動 ・2005～2006 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業「発達障害(広汎性発達障害、ADHD、LD等)に関わる実態把握と効果的な発達支援手法の開発に関する研究」主任研究者 主任研究者 市川宏伸 『成人期広汎性発達障害者に対する効果的な地域支援に関する研究』 精神保健福祉センター・発達障害者支援センターにおける福祉・心理専門職・研究協力者として活動
<p>大学院生指導</p>	<p>修論指導 2017年度「知的・発達障害者きょうだいに対する支援の必要性についての検討:障害理解プロセスに焦点を当てて」「特別支援学校における障害児の性に関する問題行動対応についての研究」</p> <p>修論指導 2018年度「身体障がい者のセルフヘルプ・グループとの出会いによる障がい者像の変化プロセス:エンパワメントという視点から」「ASD傾向のある児童の集団参加により生じる相互交流について:他者の関わりと場の共有に着目して」</p> <p>修論指導 2019年度「歯科治療に恐怖を抱く体感についての一考察」「過剰適応状態のプロセスに関する研究 -不登校経験者の語りに着目して-」</p> <p>修論指導 2020年度「中学校のスクールカウンセラーの連携の特徴と課題:不登校と発達の課題から学校不適應を伴う場合に着目して」</p> <p>修論指導 2021年度「認知症高齢者に介護を行う家族介護者の心理的体験:困難さに焦点を当てて」</p>
<p>対研究する能力に</p>	<p>2005年～2006年に関して行った、ひきこもりに関しての生理・心理・社会的アセスメントについて、厚生労働省におけるひきこもりの3類型とひきこもり地域支援事業等の事業の創設に繋がったと考える。</p> <p>2011～2013年においては、特に発達障害の支援についての支援システムの構築に向けて、厚生労働省において発達障害対策専門官として、特に発達障害の二次的問題について啓発するとともに、研究企画を助言することができた。</p>

サービス活動業績

学内委員会・作業部会等 活動実績	2016年	大学院入試委員
	2017年	大学運営評議会 大学評価・改革推進会議・危機管理委員会・情報メディアセンター運営会議・心理臨床センター管理運営委員会・学部入学者選抜会議・大学院入学者選抜会議
	2018年	大学運営評議会 大学評価・改革推進会議 心理臨床センター管理運営委員会・学部入学者選抜会議・大学院入学者選抜会議 ハラスメント防止委員
	2019年	大学運営評議会 大学評価・改革推進会議 心理臨床センター管理運営委員会・学部入学者選抜会議・大学院入学者選抜会議 ハラスメント防止委員
	2020年	大学運営評議会 大学評価・改革推進会議 心理臨床センター管理運営委員会・学部入学者選抜会議・大学院入学者選抜会議 ハラスメント防止委員 不正防止委員会 個人情報保護委員会 危機管理委員会 メイプルカレッジ運営委員会 大学院FD推進委員会
	2021年	大学運営評議会 大学評価・改革推進会議 心理臨床センター管理運営委員会・学部入学者選抜会議・大学院入学者選抜会議 ハラスメント防止委員 不正防止委員会 個人情報保護委員会 危機管理委員会 メイプルカレッジ運営委員会 大学院FD推進委員会
	2022年	大学運営評議会 大学評価・改革推進会議 心理臨床センター管理運営委員会・大学院入学者選抜会議 ハラスメント防止委員 不正防止委員会 個人情報保護委員会 危機管理委員会 メイプルカレッジ運営委員会 大学院FD推進委員会
アドバイザー活動実績	2022年度 展開ゼミ23人 専門ゼミ13人 卒プロ21人 大学院(特別研修生含む)生2人	
後進育成活動実績	<p>○1999年より、福祉担当の公務員に対して、カウンセリング理論(講師)や事例検討(SV)を実施してきており、現在も「月曜会」として月1回継続中。山梨県福祉プラザ内で、心理・福祉・教育・医療領域の対人援助に携わる社会人、大学院生など20人前後。</p> <p>○2016年より、中央・都留児童相談所において、児童心理司に対して、心理診断についての助言及び虐待事案などの家族再統合に向けての助言</p> <p>○2016年より、障害者入所施設において、月1回、多問題事例についての対応についてのスーパービジョンの実施</p> <p>○2018年より、女性相談所において、年数回、DV問題などの専門性の高いケースについての事例検討の際の助言</p> <p>○2020年より、こども心理治療施設うぐいすの杜において、年7回程度、通所・入所ケースについての事例検討の際の助言</p> <p>○2016年より、ふじざくら・やまびこ支援学校・桃花台学園において、心理の専門家としてアドバイス</p>	
	(1)講演会	
	2023年	2月 「里親の措置解除に伴う喪失感をどうケアするか」 エール里親研修
	2023年	1月 「職場不適應の現状と対応 発達障害とパーソナリティ障害を中心に」笛吹市発達障がい研修 笛吹市役所
	2022年	12月 「児童福祉領域での外国にルーツをもつ子どもと親への課題と支援」地域課題解決(多文化共生) 山梨県立大学
	2022年	12月 「親」から「私」になるとき 親離れ・子離れ 長野県子育て講座 富士見町県民ひろば研修センター
	2022年	12月 「学生や新人職員への接し方 学生や新人職員の心理状態を知る」甲府市薬剤師研修

社会 貢 献 活 動	2022年	9月	事例検討会 地域療育事例研修 あけぼの医療福祉センター
	2022年	8月	「思春期におこりやすい不安症状への対応について」山梨県養護教諭研修 甲府南高校
	2022年	7月	「支援者の支援」発達障害支援マネージャー研修 国立リハビリテーションセンター
	2022年	6月	「子育てリフレッシュ講演会&座談会」わかば保育園
	2022年	4月	「自閉症・発達障害児者が自分らしく生きるために」和歌山県自閉症協会
	2022年	1月	山梨県基幹的職員研修
	2021年	11月	「子ども家庭支援のためのケースマネジメント及び面接等に関する技術」山梨県子育て支援局
	2021年	10月	「発達障害と愛着障害」笛吹市保育協議会
	2020年	11月	「事例検討会『適応指導教室の症例について』」山梨県総合教育センター
社会 貢 献 活 動	2020年	10月	「発達障害と愛着障害」山梨県立富士ふれあいセンター
	2020年	10月	「様々な特性や個性を持つ生徒への指導方法等」山梨県都留興譲館高校
	2020年	9月	「援助関係をつくりにくい人への支援について ひきこもりの支援方法のコツとは何か！」NPO法人成年後見センターかけはし
	2020年	8月	「発達障害児者への支援」ふじざくら支援学校
	2020年	8月	「子ども家庭支援のためのケースマネジメント及び面接等に関する技術」山梨県子育て支援局
	2020年	7月	「子どもの実態把握のための専門研修会」山梨県総合教育センター
	2020年	3月	「被措置児童虐待防止について」山梨県立明生学園
	2019年	11月	「子どもの発達障害 共に育つヒント」天理教里親連盟シンポジウム 奈良県
	2019年	11月	「事例検討」専門的な困難ケース解決のためのアドバイザー派遣事業 女性相談所
	2019年	11月	「『セクシャルマイノリティ』と言われる子どもたち 支援の方向性を探る」学校保健講演会」山梨県医師会
	2019年	11月	「発達障害のある方の特性を理解する」知的障がい者・発達障がい者のための後見人養成講座 NPO法人成年後見センターかけはし
	2019年	11月	「子育ての困りごとを支援するためのミニレクチャーと演習」学校保健委員会 韮崎市北東小学校
	2019年	11月	「社会適応が困難な方の理解と支援 大人の発達障害を中心に」特別支援教育委員会研修会 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会
	2019年	10月	「学齢期における本人支援と関係機関連携について」笛吹市発達障がい支援スキルアップ研修会
	2019年	10月	「子育ての難しさの2つの視点 「里親」が会う子どもたち全国里親会会長会議&研修会 仙台
	2019年	9月	「思春期の生の指導について」PTA研修会 やまびこ支援学校
	2019年	8月	「包括的アセスメントとケースカンファレンス」児童福祉司及び要保護児童対策調整機関の調整担当者研修
2019年	7月	「子ども家庭支援のてまのケースマネジメントおよび面接等に関する技術」児童福祉司及び要保護児童対策調整機関の調整担当者研修 山梨県子育て支援局	

	2019年	7月	「児童福祉領域における相談・支援システムの在り方」第2回地域援助推進協議会 甲府少年鑑別所
	2019年	6月	「事例検討を通して生徒理解を深める」特別支援教育職員研修会 白根東小・白根巨摩中合同研修
	2019年	6月	「支援をつなぐための各機関の連携」東部地区特別支援連携協議会 県立やまびこ支援学校
	2019年	6月	「臨床心理の観点から子供理解について」子供の実態把握のための専門研修会 山梨県教育センター
	2019年	5月	「児童福祉の取り巻く環境と児童福祉について」浜松市民生委員児童委員大会第2部(全員研修会)
	2019年	2月	「公開事例検討会」平成30年度韮崎市発達障がい児支援連会会議
社会 貢 献 活 動	2019年	2月	「職員への指導やメンタルヘルスに関すること」「社会的養護における行動な専門性を必要とする知識や技術に関すること」平成30年度基幹的職員研修(前期)
	2019年	1月	「事例検討」第4回専門的な困難ケース解決のためのアドバイザー派遣事業女性相談所
	2019年	1月	「事例検討」南アルプス市途切れのない支援連携会議
	2018年	11月	「発達障害児者が快適に暮らすために 災害時の対応・犯罪被害の予防 3.11東日本大震災で学んだ「安全」と「健康」」日本発達障害ネットワーク年次大会
	2018年	11月	「発達障害のある子の家族支援のありかたを探る」平成30年度全国里親会
	2018年	11月	「将来を見据えて 本人・家族・地域の力を生かした支援とは」平成30年度第2回まなびセミナー
	2018年	10月	「事例児童(1年女児)の支援内容の検討協議」大月市立猿橋小学校校内支援会議
	2018年	10月	「生物/心理/社会モデルに基づくアセスメントについて一架空事例を用いて」中学校生徒指導主事連絡協議会
	2018年	9月	「障がいのある方の特性を理解する」NPO法人成年後見センターかけはし
	2018年	9月	「将来を見据えて 本人・家族・地域の力を生かした支援とは」峡東圏域地域療育等支援事業
	2018年	8月	「事例検討会」山梨県立高等支援学校桃花台学園
	2018年	8月	「事例検討会」山梨県立ふじざくら支援学校校内研修会
	2018年	8月	「地域で暮らす子どもたちが抱える現状」富士吉田市立吉田小学校校内研修会
	2018年	8月	「支援が必要な生徒への共通理解とアプローチの仕方」白根御勅使中学校夏季校内研修会
	2018年	8月	「教育心理」平成30年度山梨県実習指導者講習会 県医務課
	2018年	7月	「相談・援助関係がづくりにくい人への支援」山梨県立都留高等学校
	2018年	7月	「包括的アセスメントとケースカンファレンス」児童福祉司及び要保護児童対策調整機関の調整担当者研修
2018年	6月	「将来を見据えて 本人・家族・地域の力を生かした支援とは」山梨県障害児(者)地域療育等支援事業研修会	

	2018年	6月	「特別支援教育における臨床心理学の活用」山梨県総合教育センター
	2018年	5月	「発達障がい児・者への心理的支援について考える」ネストやまなし1周年記念
	2018年	3月	「発達障害者の特性と関係機関との連携」山梨労働局 新任職員研修
	2018年	3月	「事例に基づくスーパービジョン」発達障害支援スーパーバイザー養成研修 日本財団
	2018年	3月	「子ども虐待対応」「子どもの面接」「包括的アセスメント」2回目 県子育て支援課
	2018年	2月	「基幹的職員研修」のなかのスーパービジョン等 県子育て支援課
	2018年	2月	「子ども虐待対応」「子どもの面接」「包括的アセスメント」1回目 県子育て支援課研修
社会 貢献 活動	2018年	2月	「ゲートキーパー講習会」平成29年度第1回自殺予防講習会
	2018年	1月	「学校に行きたがらない学生たち」ADHD等指導者養成講座2017えじそんくらぶ
	2018年	1月	「発達障害者及びその家族が互いに支え合うために必要な市町村の役割」発達障害に係る市町村等行政担当者研修会 県障害福祉課
	2018年	1月	「途切れのない支援 確実な引き継ぎと就学後の継続支援」第2回富士北麓地区特別支援連携協議会
	2017年	12月	「地域共生社会の実現に向かって」JDDnet年次大会
	2017年	11月	「援助関係をつくりにくい人への支援」愛媛県生活困窮者自立支援研修会
	2017年	11月	「女性の発達障害」医療・福祉従事者のための発達障害臨床セミナー 国リハ
	2017年	10月	「学校におけるメンタルヘルス教育について」の模擬授業 若年層への自殺予防教育についての関連研修
	2017年	10月	「これからの児童相談所のありかたを探る グループダイナミクスとケースの見方・考え方」平成29年度東海北陸ブロック児童相談所児童福祉司・心理司合同研修会
	2017年	10月	「問題行動のある児童生徒のアセスメントと対応策」ふじざくら支援学校
	2017年	9月	「自分らしく生きる大人になるための育ちの視点」2017JDDセミナーinながの
	2017年	9月	「発達障害入門」一般社団法人日本産業カウンセラー協会
	2017年	8月	「山梨県における発達障害者支援の現状と課題について」山梨障害者職業センター研修会
	2017年	8月	「教育心理」平成29年度山梨県実習指導者講習会 県医務課
	2017年	8月	「地域で暮らす子どもたちが抱える現状と発達支援」2017年発達が気になる子の育ちを考える夏季セミナー うめだ・あけぼの学園
2017年	7月	「メンタルヘルスに課題を抱える子どもへの支援」平成29年度若年層対策事業	

	2017年	7月	「当事者会の現状とこれからを考える」発達障害当事者会フォーラム2017
	2017年	7月	「発達障害について 発達障害の基礎知識と支援のあり方」富士吉田警察署
	2017年	7月	「みんなで語ろう豊の子ども 親子でハッピー」豊小学校教育を語る会
	2017年	6月	「家族への相談・支援」ひきこもり地域支援者研修会
	2017年	6月	「子どもを取り巻く環境と学校における対応」平成29年度小・中・高・支援学校生徒指導担当者との連絡会議
	2017年	6月	「発達障がいのある人の将来を見据えた支援」山梨県立富士ふれあいセンター地域福祉講座Ⅰ
	2017年	3月	「ひきこもり対策研修 家族への相談・支援」厚生労働省こころの健康づくり対策事業
社会 貢献 活動	2017年	3月	「発達障がい児事例を通じた機関連携のあり方」韮崎市発達障がい児支援連携会議全体研修
	2017年	2月	「発達障害のある方への支援 発達障害の基礎知識と学校でできる支援(合理的配慮) 山梨学院大学FD研修会
	2017年	2月	「先を見すえた発達障がいへの支援」JDDnetセミナー福井」
	2017年	1月	「児童福祉法等の一部改正を受け、市の児童虐待対策に求められるもの」平成28年度 山梨市児童虐待防止対策職員研修会
	2017年	1月	「ゲートキーパー講習会」平成28年度第1回自殺予防講習会
	2016年	12月	インクルーシブ社会の実現に向かって -教育・就労・福祉の視点から」JDDnet第12回年次大会
	2016年	11月	「働く人のメンタルヘルス対策-発達障害・疑いのある方への支援-」一般社団法人日本産業カウンセラー協会
	2016年	11月	「子どもの発達スタイルに応じた支援」子ども・子育てフォーラム富山
	2016年	11月	「事例検討」山梨県福祉専門職基礎研修
	2016年	10月	「人間の成長発達とつまずき」NPO法人いのちの電話
	2016年	9月	「発達障がい児の家族支援」韮崎市発達障がい児支援連携会議
	2016年	8月	「軽度の知的障害と発達障害を併せもつ思春期の生徒への支援について」かえで支援学校
	2016年	8月	「母子支援におけるアセスメントの重要性について」産前産後育児支援従事者研修会
	2016年	8月	「公開ケースカンファレンス SCとSSW」思春期問題ワークショップ
	2016年	8月	「家族における障害の理解」富士北麓地区特別支援連携協議会
	2016年	8月	「家族における障害の理解」わかば支援学校校内研修

	2016年	7月	「マイノリティの生きづらさ・生活のしづらさ:LGBTへの支援の方向性を探る」第4回山梨県郡市指導主事会
	2016年	7月	「若年層への自殺予防教育についてのモデル事業関連研修」山梨県立精神保健福祉センター
	2016年	6月	「家族における障害の理解」富士北麓地区特別支援連携協議会
	2016年	5月	「発達が気になる子の家族支援」韮崎市要保護児童対策協議会
	2015年	5月	「基礎研修① 総論 山梨県の福祉の現状と課題 山梨県福祉専門職研究協会 2015年度
	2014年		発達障害・専門講座5「発達障害 成人期の生きづらさ」において「成人期の社会的支援」公益財団法人 明治安田こころの健康財団
	2014年		発達障害・専門講座6「臨床児童青年精神医学入門」において、「ICFに基づく心理アセスメント」公益財団法人 明治安田こころの健康財団
	2014年		「発達障害 医療と福祉の連携について」山梨県総合教育センター
	2014年		子どもへの支援について「児童虐待と発達障害」社会福祉研修事業 山梨県保育協議会保育所(園)長研修会
	2014年		発達障害のある方への支援 思春期・青年期に生きづらさ 第5回 特別支援教育に関するセミナー 高校生セーフティネット研究会 九州産業大学
	2013年		発達障害の支援についての講義 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所、国立特別支援教育総合研究所
	2012年		発達障害早期総合支援研修 発達障害支援精神医学研修 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
	2012年		発達障害の理解と支援に関する基礎研修会 一般社団法人 日本臨床心理士会
	2011年		発達障害早期総合支援研修 発達障害支援精神医学研修 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
	2011年		発達障害の理解と支援に関する基礎研修会 一般社団法人 日本臨床心理士会
	(2) 出前講座		
	2020年	11月	「心理学入門」山梨県立巨摩高校
	2019年	10月	「心理について」山梨県立昭和高校
	2019年	9月	「自分について考え、自己理解を深める」総合学習の授業として 星槎国際高等学校甲府キャンパス
	2019年	2月	「コミュニケーション講座」山梨県立中央高等学校
	2018年	12月	「心理学入門 心理学が活かせる仕事」山梨県立都留高等学校
	2018年	11月	「心理学入門 心理学が活かせる仕事」山梨県立巨摩高等学校
	2018年	9月	「発達や生活の多様性を知ろう 発達障害やひきこもりについて」長野県岡谷南高等学校
社会 貢 献 活 動			

- 2018年 6月 「心理学入門 心理学が活かせる仕事」 山梨県立吉田高等学校
- 2017年 7月 「発達や性格の多様性を知ろう 自分らしさとは？」 星槎国際高等学校甲府
- 2016年 6月 「発達障害の理解と支援」甲斐清和高校研修会

(3) 公開講座

- 2016年 5月 発達障害(児)者の生きづらさや生活のしづらさ ー支援者としてできることー
山梨英和大学地域連携公開講演会

(4) 学外審議会・委員会等

- 2013年 6月～ 日本発達障害ネットワーク理事(2016年6月より 副理事長)
- 2016年 山梨県発達障害等に対する総合支援基本構想策定委員会委員
- 2016年 6月 平成28年度韮崎市発達障がい児支援連携会議アドバイザー
- 2016年 10月 公益財団法人全国里親会理事 ～ 2020年まで
- 2016年 厚生労働省児童発達支援に関するガイドライン策定検討会構成員
- 2017年 ～ 厚生労働省社会保障審議会障害者部会委員
- 2018年 6月 第1回富士北麓地区特別支援連携協議会アドバイザー
- 2018年 6月 平成30年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会分科会コーディネーター
- 2019年 11月 山梨県総合計画審議会第6期委員 ～2020年まで
- 2019年 4月 山梨県行政不服審議会委員
- 2019年 4月 日本臨床心理士会第4期委員会 障害者福祉委員会副委員長
- 2020年 日本公認心理師協会 政策委員会 委員
- 2020年 日本児童青年精神医学会 福祉に関する委員会
- 2020年 山梨市いじめ調査委員会 委員
- 2020年 笛吹市発達障害支援関係機関連絡会議 アドバイザー
- 2021年 南アルプス市いじめ問題対策委員会 副委員長
- 2022年 令和4年度 山梨県インクルーシブ教育推進事業 相談支援チーム 専門家会議委員
- 2022年 令和4年度 山梨市児童虐待防止ネットワーク「山梨市民会議」代表者会議 スーパーバイザー
- 2022年 山梨県子ども支援委員会設置検討委員会 委員
- 2022年 山梨県犯罪被害者等支援条例検討会議 委員

	2022年		乳幼児緊急一時保護里親選考委員会 委員
	(5)その他		
	2023年	1月	南アルプス市事例検討会 スーパーバイザー
	2022年	12月	日本発達障害ネットワーク年次大会 指定討論
	2022年	2月	「大学院ではどんなことを勉強するのか」相模女子大学セミナー
	2022年	1月	南アルプス市事例検討会 スーパーバイザー
	2021年	10月	「事例検討会」山梨県教育センター 助言
	2021年	8月	「事例検討」桃花台学園 講義
	2021年	3月	「事例検討」山梨県女性相談所 アドバイザー
	2021年	2月	「地域支援研修会『発達障害と不登校と家族と』」山梨県障害児(者)地域療育等支援事業 ファシリテーター
	2021年	1月	「事例検討会『児童相談所と連携した個別の対象者に係る事例検討会』」甲府少年鑑別所 アドバイザー
	2020年	12月	「発達支援における多様性の尊重と受容」2020年度JDDnet第16回年次大会 企画等
	2020年	11月	「気になる子の保育指導」真木保育園
	2020年	2月	「支援をつなぐための各機関の連携」東部地区特別支援連携協議会 山梨県立やまびこ支援学校 指導・助言
	2020年	1月	「保護者の合意形成の在り方」富士北麓地区特別支援連携協議会 山梨県立ふじざくら支援学校 助言
	2020年	1月	「多様性のある子育て」こころのサポートセンターネストやまなし 発達セミナー 司会
社会貢献活動	2019年	12月	「事例検討」山梨県配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する関係機関連絡協議会 実務者会議 アドバイザー
	2019年	7月	「保護者の合意形成の現状」富士北麓地区特別支援連携協議会 山梨県立ふじざくら支援学校 助言
	2018年	3月	第35回日本臨床心理研究所研究会コメンテーター ぶどうの丘
	2018年	1月	JDDnet人材育成研修会「大人の発達障害」の企画・運営 山梨英和大学
	2017年	3月	「発達障害者の当事者同士の活動支援の在り方に関する調査 ヒアリングと研修会講師としての参加
	2016年	6月	地域福祉論において「児童相談所の役割と機能」「児童虐待と家族支援」についての講義 山梨学院大学

成果と目標

専門的成果	<p>①対人援助サービスにおいて、ひきこもり支援の現状理解を行い、ひきこもりを3つに分類することによって適切な支援方法を導きだした。このことにより、ひきこもりがさまざまな要因によって生じ、それとともに支援の方法も違うことを明らかにした。</p> <p>②発達障害支援のシステムに関して、三層による支援の必要性を導き出し、支援の仕組みやネットワークなどの整理を行い、現在、その有用性について地域支援のなかで実践中である。</p>
専門的成果	<p>③現在、対人援助サービスの実践を行っている専門家に対して、生理・心理・社会的モデルに基づいて、実践知と実践に基づいた理論を活用して、助言及びスーパービジョンを行っている。またこれらのノウハウを生かして、院生への事例への指導を行っている。</p>
専門的目標	<p>①児童福祉領域の支援とそのシステムは、他の領域(高齢福祉領域、障害福祉領域など)と比較すると、未整備であり、点構造な支援と言える。これまでの実践での現状と課題を整理し、児童福祉領域における支援とシステムについて整理し、新たな支援システムを構築し広く提案していきたい。</p> <p>②多問題事例への支援について、これまで困難事例として手立てがみつからずにいることがあるが、よりよい相談やサービスが必要な人に適切に提供できるようにするため、困難となる要因を探るとともに、多職種とのディスカッションを行いながら検討していき、困難事例への対応を検討していく。</p> <p>③②ともつながるが、相談の効果的な方法は、おそらく臨床心理学実践とソーシャルワーク実践の統合によるものであると思われる。そのことを多くの実践例をスーパービジョンを行う中で分析し、検討していきたい。そのため、今年度はスーパービジョンのあり方を探っていきたい。</p>

作成基準日	2023年3月31日
-------	------------